

三條南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club

2010.10.18

No.1970
No.12



出席率	会員50名中37名
先々週の出席率	89.13%
ゲスト	米山奨学生 バトナサン・バチュルーンさん
先週の メークアップ	10/4 燕RCへ 荏澤喜一郎君 10/7 三條ローターアクトクラブへ 銅冶康之君 大溪秀夫君 10/7 燕RCへ 野島廣一郎君 佐々木常行君 10/13 地区GSE委員会(上越)へ 安達 裕君 10/14 地区大会記念ゴルフ大会(上越)へ 三野輪明人君 佐々木常行君 佐藤嘉男君 10/14 三條東RCへ 松崎孝史君 田中悌司君



会長挨拶

三條南ロータリークラブ 会長
大溪 秀夫

皆さん、こんにちは。

10月には職業奉仕及び米山月間であります。本日は米山奨学生である、モンゴルのバトナサン・バチュルーンさんから話をしてもらいます。米山奨学委員会の嘉瀬委員長、よろしくお願い致します。

また、10月7日にローターアクトの例会があり、当クラブに「健康について」という卓話の依頼がありましたので、銅冶会員にお願いし、一緒に例会に出席してきました。主に心の健康について話をされ、また質問もたくさん出て有意義なひとときでした。

それに先立ち、10月6日には今年度のノーベル賞の受賞発表がありました。ノーベル化学賞に日本の鈴木章北大名誉教授と根岸英一米パデュ大学特別教授、それにアメリカ人の3人が選出されました。

ノーベル賞は、スウェーデンの科学者、アルフレッド・ノーベルの遺言に基づく国際的な賞であります。賞金はノーベルの莫大な遺産でつくった基金の運用益が充てられます。日本人の受賞者は湯川秀樹京都大学教授から数えて18名になります。1901年に物理学、化学、医学生理学、文学、平和の5賞の最初の授与が行われました。平和賞はオスロ、それ以外はストックホルムで選考されます。経済学賞は遺言にはありませんでしたが、スウェーデン銀行創立300周年を記念して、1968年に創設されました。毎年、ノーベルの命日である12月10日に各賞の授賞式が行われます。私が子供の頃はノーベル賞というと物凄い賞であり、日本人がとれるものとは思いませんでした。何はともあれ、若い研究者の励みになることは間違いのないと思います。

また、10月13日にチリ北部ユピアボ郊外の鉱山落盤事故(8月5日に発生)で、地区700メートルに閉じ込められた33人の作業委員全員



国際ロータリー会長 レイ・クリンギンスミス [アメリカ]
第2560地区ガバナー 東山 昶也 [高田]
第4分区AG 荏澤喜一郎 [三條南]
会長 大溪 秀夫
幹事 野崎 正明
S A A 平松 修之

事務局 〒955-8666 三條市旭町2-5-10

三條信用金庫 本店内

TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

URL http://www.sanjo-minami.jp

の救出が成功し、69 日ぶりに生還したことがニュースで流されました。救出に使われたカプセルは“フェニックス（不死鳥）”と名付けられましたが、その願いが叶ったものと嬉しく思いました。こういう極限状態におけるリーダーの役割の大切さを教えられたような気がします。

スポーツでは、サッカーにおいてザック新監督のもと、対アルゼンチン戦を1－0で勝利、宿敵韓国にはアウェーで0－0のドローと上出来のスタートをきりました。来年からの試合に期待を持たせます。また、野球ではクライマックスシリーズが始まり、日本シリーズを迎えようとしています。スポーツの秋、真っ盛りということでしょうか。

来週は職場例会です。職業奉仕の月間でありますので、よろしくお願いします。

幹事報告

野 崎 正 明 幹事
加茂RCより「創立 50 周年記念式典」出席お礼
※ 10月2日 18名出席

東山ガバナー事務所より 11 月ロータリーレートのご案内
11月1日より 現行 1ドル 86円 ⇒ 82円

三条市特別支援教育研究協議会より
市内特別支援学級児童生徒の「ウィンターフェスティバル」のご案内
と き 12月 3日（金） 9：30～11：30
ところ 三条市総合福祉センター 多目的ホール
※ 赤塚 寧社会奉仕委員長出席予定

表 彰

マルチプルポールハリスフェロー

1,000 ドル以上寄付した者は、その後 1,000 ドル寄付するごとにマルチプル・ポール・ハリスフェローになります。
2,000 ドルから 9,000 ドルまで 8 段階あります。（例：2,000 ドル達した場合、段階 1 となります）

嘉 瀬 修 君（段階 1） 佐々木常行 君（段階 1） 草野 恒輔 君（段階 2）

ニコニコボックス

NIKO-NIKO BOX

～ 10月18日 15,000円
今年度累計 249,000円～

大 溪 君 今月は「米山月間」です。
本日は米山奨学生であり、モンゴルから来られているバトナサン・バチュルーンさんのお話があります。嘉瀬委員長さん、ご苦労様です。

野 崎 君 米山奨学生バトナサン・バチュルーンさん
本日は卓話よろしくお願い致します。

松 崎 君 十二指腸潰瘍で入院しました。
ご心配・ご迷惑をおかけしました。

馬場（信）君 三条商工会議所創立70周年で表彰されました。飯山さんが代表して表彰状を受け取られました。
坂井範夫さん、坂本さん、住谷さん、西巻さん、葦澤さん、野崎さん、馬場茂夫さん、星野さんも表彰を受けられ、おめでとうございます。
松崎さん、退院おめでとうございます。

嘉 瀬 君 今日は、「米山月間」例会です。モンゴルから留学のバチュルーンさんの卓話を聞いて戴きます。また、今日は特別に2,000円のご寄付をお願い致します。

鈴木（囿）君 本日のお客様、
米山奨学生バトナサン・バチュルーンさん、ようこそいらっしゃいました。歓迎致します。

吉 井 君 米山奨学生のバチュルーンさん、ようこそ！
タキ君同様に留学生の日本語の上手さには驚きです。日本での生活を楽しんで下さい。

野 中 君 10月25日、次回例会は『職場例会』です。
皆様の出席をお待ちしております。

荒澤君、佐々木君、佐藤（秀）君、
佐藤（嘉）君、馬場（一）
BOXに協力致します。

星 野 君 ご協力ありがとうございました。

「米山月間に寄せて」

嘉瀬 修 米山奨学委員長

米山記念奨学事業とは…世界平和を願って始まった奨学事業

ロータリー米山記念奨学事業の歴史は、50年以上前にさかのぼります。敗戦後の復興が続く1952年、日本のロータリーの礎を築いた米山梅吉氏の功績を記念して、東京ロータリークラブによって「米山基金」が設立されました。日本のロータリーが国際ロータリーに復帰して3年後、米山梅吉氏がそれを見ずして、奉仕に捧げた生涯を終えてから6年後のことです。米山梅吉氏が生前、東南アジアに深い関心をもっていたことから、ロータリー財団の国際奨学制度に模して、アジア諸国から奨学生を招致しようというのが基金設立の目的でした。そして、2年にわたる募金活動の後、1954年にタイから第1号奨学生となるソムチャード氏を招聘したのです。氏は東京大学で養蚕学を研究し、帰国してからはタイの蚕糸局に入局タイシルクの増産に貢献しました。

米山奨学金の創設の目的は、日本が再び戦争の過ちを繰り返さない誓いと、世界に“平和日本”の理解を促すことにありました。留学生が平和を求める日本人と出会い、互いに信頼しあう関係を築き、「世界の懸け橋」となることを願ってつくられたのです。



本日は月間に際して、米山奨学生でモンゴルからの留学生 バトナサン・バチュルーンさんから卓話をさせていただきます。バチュルーンさんは、現在長岡技術科学大学経営情報システムの修士課程で学ばれている優秀な学生さんです。三条東クラブが世話クラブとして受け入れておられます。バチュルーンさんのお話から米山記念奨学事業への理解を深めていただき、さらなるご支援・ご協力をお願い申し上げます。

『「新モンゴル高等学校」の設立・私の夢・母国モンゴル』

米山奨学生

バトナサン・バチュルーンさん

「新モンゴル高等学校」の設立

私が日本への留学を目指したきっかけは、モンゴルにある「日本式」の私立高等学校に入学したことです。高等学校名は「新モンゴル高等学校」、創始者であり、校長先生はジャンチブ・ガルバドラッハといいます。ガルバドラッハ先生は日本に留学したことがあり、留学中はロータリー米山奨学生でした。先生は、私にとって米山学友の大先輩でもあります。

その大先輩のご活躍の一環である「新モンゴル高等学校」（私の出身高校）について、モンゴルの教育事情を踏まえて紹介したいです。

モンゴルでは、2008年9月から小学校6－中学校3－高等学校2の11年制、そして2009年から小学校6－中学校3－高等学校3の、日本と同じ12年制になりました。

でも、それ以前は10年制が普通だったのです。もし、高校生が外国の大学に留学したいとしても、多くの国の学校は12年制なので受験資格を得られませんでした。私も、10年制の普通学校に通っていたら、このように留学することができなかったと思います。また、モンゴルは今でこそ発展しつつありますが、多くの学校では小学生から高校生までがひとつの学校で学ぶ「一般学校」が一般的で、学校が少なかったため、少なくとも2回転、多くて3回転で授業が行われていました。つまり、高校生でも朝早くから来て、4時間ぐらい勉強し、お昼前には次のクラスの生徒に教室を譲って帰らなければなりませんでした。

これでは、十分な教育が受けられるはずありません。このままでは国際的に通じる国づくりができないと考えたガルバドラッハ先生は、日本に学びに来た一介の留学生だったにも関わらず、「朝から夕方まで授業のある日本式の高等学校づくり」を思い立ったといいます。先生の夢に賛同したのが、山形北ロータリークラブを中心とした「柱一本の会」など、山形をはじめとする日本のみなさんです。せめて建物の柱1本だけでも支援したいという思いで、「柱一本の会」が設立され、そのご支援があってついに2000年10月、新モンゴル高等学校が誕生したのです。

ガルバドラッハ先生の目指した「日本式の高等学校」というのは、1970年代の日本の高度経済成長を支えた科学・数学重視のカリキュラムをもつ学校、制服やみんなで食べる給食、生徒の自主的なクラブ活動やボランティアなど、全人的な育成を目指した高等学校でした。



私は、第一期生として新モンゴル高等学校を卒業したことを誇りに思っています。母国のために貢献したいという熱意を与えてくれたのも、日本留学への夢をかなえてくださったのも新モンゴル高等学校なのです。校長先生は毎日のようにご自分の夢のあふれるお話を聞かせてくれました。「モンゴルの発展はこれからです。その新しいモンゴルを作り上げるのはあなたたちだよ」と背中を押してくれました。先生のおかげで、母国の発展に貢献したいという熱い思いが心に沁み込んだのです。

今の新モンゴル高等学校の教育方針は着々と成果を上げ、現在は、日本を始めアメリカやヨーロッパに数多くの国費・私費留学生を通算で何百人も送り出す、モンゴルで最も成功した高等学校の一つに数えられています。新モンゴル高等学校は、日本の多くのみなさんに支えられ、おかげさまで2010年に10周年を迎えました。その間に、地方から来る高校生への寮

の設立、小学校や中学校の設立、体育館、図書館などの設備の充実など、つぎつぎと発展しています。

私の夢

母国モンゴルの発展のために活躍し、具体的に貢献できることが私の夢です。モンゴルの産業分野が向上しない限り、経済は成長できないと考えています。その中で、地下資源が豊富でありながら、鉱業はモンゴルの経済を支えていないように思います。近年は、ウランの埋蔵量では世界最大ではないかと思われる鉱脈が発見され、ロシア、カナダ、中国、イギリス、アメリカ、日本など各国が熱い視線を送っています。地下資源の発掘とその活用、環境修復はモンゴルにとっても急務です。私は、大学卒業後に帰国し、ウランの開発プロジェクトにグローバルな視点で携わっていきたいと考えています。

母国の紹介

モンゴルと日本との立地関係

モンゴルは、東アジア大陸中東部、ロシアと中国に囲まれた国です。国土の総面積は、156万4,100平方kmで、日本の約4倍の広さです。この広い土地に日本の60分の1に相当する約270万人が暮らしていて、これが新潟県の人口と同程度です。そのため、人口密度は1平方kmあたり1.6人と少ないのです。日本とモンゴルとの距離は約4000キロ（飛行機で約5時間）と、決して遠くはありません。また、北海道とほぼ同じ緯度に位置するため、気候風土も北海道に似ています。

首都のウランバートル

モンゴルの首都ウランバートルは中央に位置し、トール川が流れていて、四つの山に囲まれた盆地になっています。人口は、102万5,174人と、千葉県と同程度です。全人口のおよそ半数近くがウランバートル市に集中する極端な一極集中となっているため、都市計画の面で様々な問題に直面しています。

国旗の意味



モンゴルの国旗は、赤、青、赤の横三色の左側の赤地にソヨンボという意匠を配した旗です。ソヨンボは、かつてモンゴルで使われていた文字で、ソヨンボの意味には色々な説があります。図形は上から、上から炎、太陽と月、矢、巴形の魚、要塞などそれぞれに独自の意味が込められています。炎は回復と成長を、太陽と月は古代の自然宗教の名残、2匹の魚の巴形円は宇宙の単一性と陰陽を表しています。「2人の友情は石壁より強い」ということわざに由来する要塞の2つの長方形は、モンゴル人の団結が国の強さの基礎だということを示しています。また、赤は正義、青はモンゴルの空の色を表します。

言語の表記と宗教

モンゴル語の表記は歴史的に、縦書きのモンゴル文字が使用されていました。しかし、ソビエト連邦の全面的な支援によって中国からの独立を果たしたモンゴルは、1941年にロシア語のキリル文字を採用しました。キリル文字で書かれた教科書も次々と出版されるようになりました。そのため、モンゴル語とロシア語はまったく違う言語にも関わらず、モンゴル人はロシア語を読むことはできます。モンゴル語で「こんにちは」を「サインバイノ」といいます。日本のお菓子「せんべい」に「の」をくっ付けて発音すれば、同じく聞こえます。

モンゴル人の主な宗教はチベット仏教で、歴史的にチベットと深い関わりがありました。

草原と気候

ウランバートル市を一步出ると、どこまでも続く草原にぶつかります。何も無い大草原を進む道は、先が見えないくらい遠く続きます。大草原地帯は、国土の約80%を占めており、平均標高は1000～1500mです。内陸にあるため大陸性の乾燥した気候で、夏は40℃近くになる日もある一方、真冬はマイナス40℃を下回ることもあります。モンゴルの夏は、約1ヶ月と短く、1年の約半数は氷点下になり、ウランバートル市でも8月の末には雪が降ることがあります。しかし、年間の降水量は非常に少なく、雪は数センチしか降りません。

- 牧畜とゲル

厳しい自然の中で、モンゴル高原の牧民たちの間には、牧畜という伝統的な生活が残っています。主な家畜である牛・馬・羊・ラクダ・山羊を連れて、季節ごとに移動します。遊牧民が移動して過ごす地域は、その季節によって適した場所が選ばれます。春は家畜の出産があるので雪解けの早い場所を、夏は水が近くにあり、草の豊富な場所に移動します。秋は冬の準備として家畜を太らせなければなりません。草をたくさん与えるため、草の豊富な場所を選びます。過酷な冬の季節は、風などを避けられる山間部に移動します。モンゴル人は家畜を大切にするのは、生活の基盤だからです。主な食料でもあり、収入のもとでもあります。また、馬は主な交通手段だったため、大切にしてきました。

そんな遊牧民たちが利用してきたのがゲルと呼ばれる移動式住居です。ゲルはきびしい寒暑から身をまもるために、中央に炉がおかれています。また組立てと解体が容易にできるため、移動生活には便利です。組み立てるのに大人二人だったら二時間しかかかりません。

- 料理

モンゴルの主な食糧は羊です。秋になると何頭もの羊が食用に解体され、雪の季節が来る前に包んで地面に埋め、冷凍状態にします。現代では、冷蔵庫が普及し、夏でも肉を食用に使うようになりました。定番な料理は、ボウーズです。羊肉を小麦粉で作った皮で包み、中華鍋を使って蒸した、蒸し餃子のようなものです。モンゴルの自然環境では、白いご飯を栽培することができなかったため、小麦粉を使った家庭料理がたくさんあります。しかし、海外から白いご飯を輸入することに伴い、白いご飯の使用は急速に増加しています。

- 基盤産業

モンゴルの基幹産業は農牧業、鉱業、観光業です。農牧林業では、カシミヤ、羊毛、皮革、毛皮、木材・家具などが中心です。鉱業では、モリブデン、銅、石炭が多く産出されています。金、銀、錫、タングステン、鉛、石油、ウランなどの開発が期待されています。

世界で活躍する米山学友

ジャンチブ・ガルバドラッハさん

モンゴル 1998－99 山形大学大学院(山形北 RC)



2000 年、モンゴル初の 3 年制高校「新モンゴル高校」を設立。学校設立にあたっては、山形北 RC を中心に結成された「柱一本の会」などから多くの善意が寄せられた。卒業生の多くは、日本はじめ世界各国の大学に留学。将来の国を支える力として期待されている。

駿溪トロペカイさん

アフガニスタン 1981－83 筑波大学大学院(小山 RC・土浦 RC)



2000 年日本に帰化。
2003 年カブールに「希望の学校」設立。教育を受けられず成人したアフガニスタン女性のために識字教育と職業訓練を行っている。筑波大学教育開発国際協力研究センター学外研究員。お茶の水女子大学グローバル協力センター客員准教授。

フイン・レイさん

ベトナム 1973－74 東京大学大学院(東京品川中央 RC)



1988 年、ベトナム初の私立大学「タンロン大学」を主都ハノイに設立、初代学長となる。現在は、タンロン技術学院の院長として、日本語教育や IT・CAD 技術者養成を通じ、ベトナム人学生の新たな職業機会をサポート。また、日本企業とのビジネスを展開し、越日ビジネス交流に幅広く貢献している。

スチュアート・マクブヤ・センパラさん

ウガンダ 2001－02 アジア学院(鹿沼 RC)



母国で赤十字の活動にかかわり、1986 年、内戦やエイズで親を失った子供を支援する NGO・ウガンダ意識向上財団(CUFI)を設立。アジア学院(栃木県那須塩原市)での 2 度の留学成果を生かし、帰国後、CUFI で学校給食や有機農業、環境植林などのプロジェクトを推進している。



Sunday Monday Tuesday Wednesday Thursday Friday Saturday

	1 ◇南RC 11月4日 「第4分区親睦交流会」へ振替 ※4日欠席の方は1日にご記帳いただくか or 他クラブへメイクアップを!	2 ◆北RC 「ロータリー財団月間」 地区ロータリー財団委員 様 ◆三条RC 三遊亭金時師匠落語講演会 ※記帳できます	3 文化の日 ◇三条RC 休 会 ※2日に記帳できます	4 ◆南RC 「東山ガバナーを迎えての分区親睦交流会」 15:30～ 於:VIP ◆東RC 「公式訪問」 ※記帳できます	5	6
7	8 ◆南RC 卓話 新潟市立中野山小学校校長 小野 民部 様	9 ◆北RC 卓話 新潟県立三条商業高校校長 石井 充 様	10 ◆三条RC 11月4日 「第4分区親睦交流会」振替 ※記帳できます	11 ◆東RC 「ロータリー財団月間」 地区R財団委員 小林 正夫 様	12	13
14	15 ◆南RC 「ロータリー財団月間」 地区ロータリー財団委員 様	16 ◆北RC 卓話 菊池弘之会員	17 ◆三条RC 「ロータリー財団月間」 地区R財団ポリオプラス委員長 野崎 正明 様	18 ◆東RC 卓話 三信地域経済研究所 所長 佐川 正博 様	19	20 □ 地区大会第1日目 & RI 会長代理歓迎晩さん会 市役所前 9:30 出発
21 □ 地区大会第2日目 市役所前 7:30 出発	22 ◇南RC クラブ休会	23 勤労感謝の日 ◇北RC 休 会	24 ◆三条RC 「クラブ・フォーラム」 地区大会報告	25 ◆東RC 「クラブ・フォーラム」 地区大会報告	26	27
28	29 ◆南RC 「クラブ・フォーラム」 地区大会報告	30 ◆北RC 「クラブ・フォーラム」 地区大会報告				

*近隣RC例会変更のお知らせ

- 吉田RC 11月19日(金) 夜例会
- 燕RC 11月25日(木) 夜例会

記帳場所

山岸会計事務所
 燕三条ワシントンホテル

表紙について



テオドール・ルソー (1812～1867)

■「フォンテーヌブローの森」

1861年

村内美術館

ロータリーの友 1990年2月号表紙より

三条南ロータリークラブ週報

2010.10.18

No.1970 No.12